

2009年12月14日厚生労働省

第5回看護職員需給見通しに関する検討会
看護師確保について

全日本病院協会 副会長

神野 正博

(社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院理事長)

満足

医療の質

Customer's Satisfaction

CS

Social Satisfaction

SS

DS

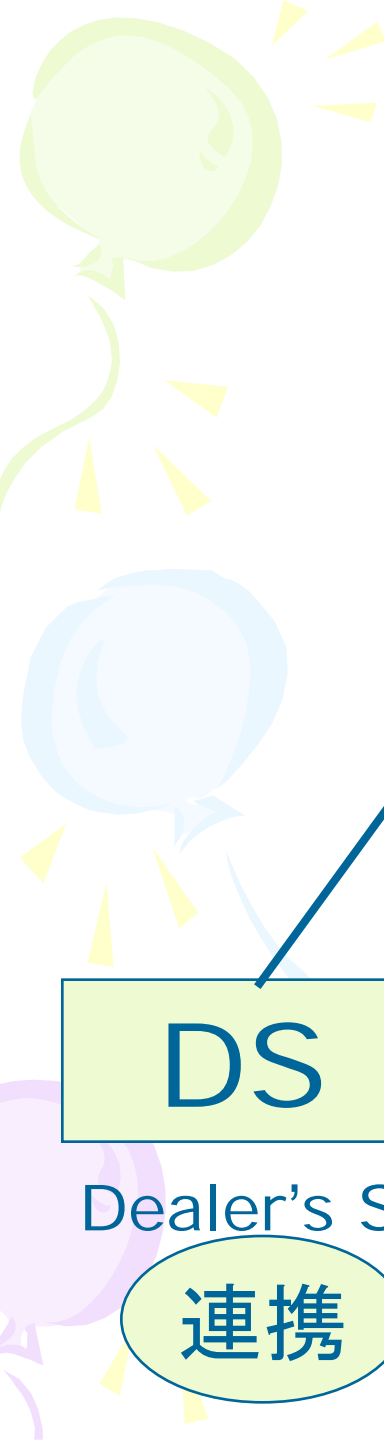
ES

Dealer's Satisfaction

Employee's Satisfaction

連携

本来業務 Core Mission





Contents

- マクロ的な認識
- 四病協・全日病の主張と取組み
- ある地方の話
- ある病院の話



第1回の当委員会でも紹介されましたが、

改めて...

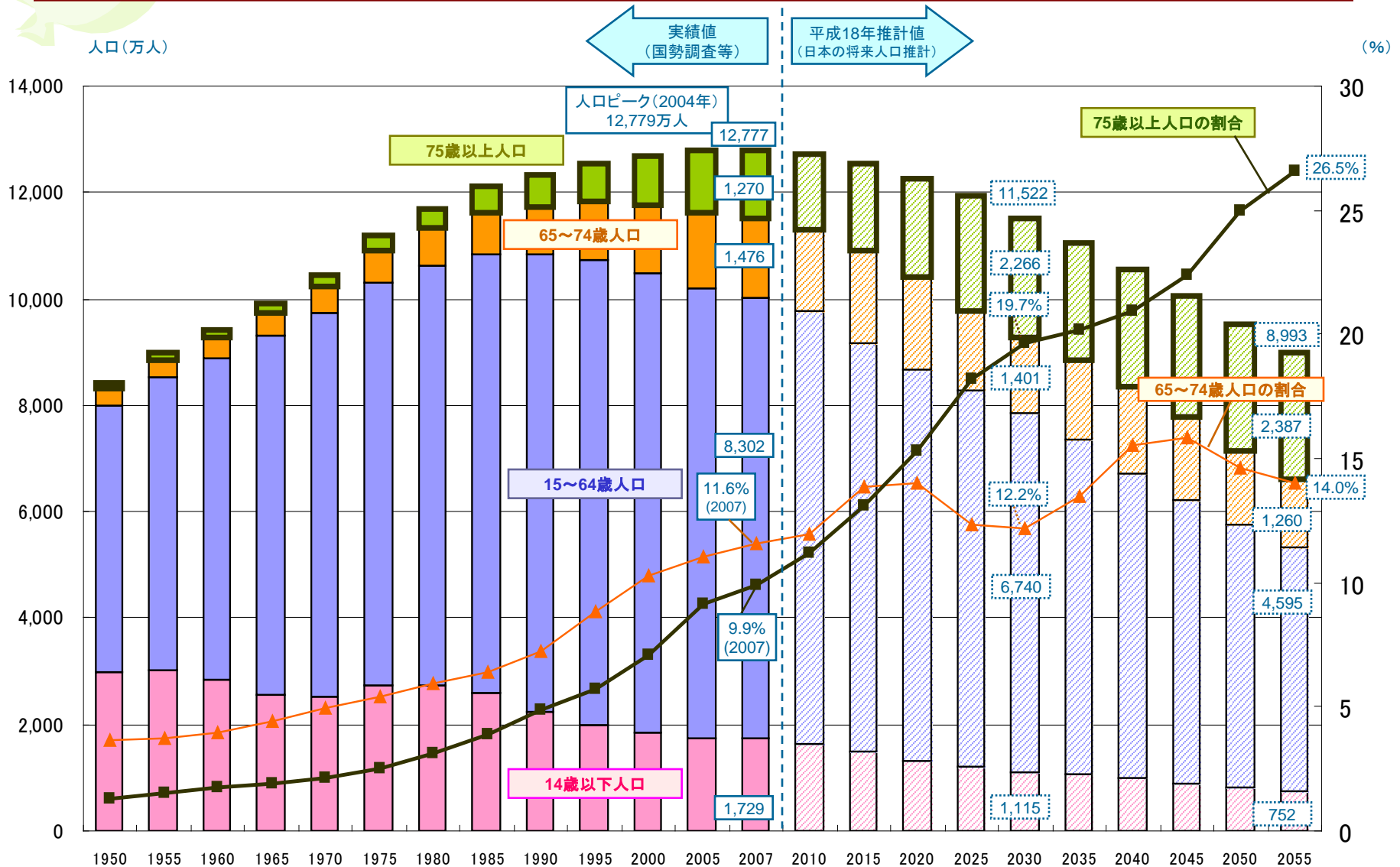
社会保障国民会議 サービス保障分科会 より

シミュレーションに示された改革実現に向けた検討

- 本シミュレーションは、「医療・介護サービスの**あるべき姿**」の実現を前提としたシミュレーションであり、実際にこのような姿が実現されるためには、**安定的な財源の確保**のみならず、サービス供給体制の計画的整備や専門職種間の役割分担に関する制度の見直し、診療報酬・介護報酬体系の見直し、マンパワーの計画的養成・確保、サービス提供者間・多職種間の連携・ネットワークの仕組みの構築、サービスの質の評価など、制度面を含めたサービス提供体制改革のための相当大胆な改革が実行されることが必要であり、改革を実際に行う場合には、具体的な**改革の道筋(工程表)**を明らかにした上で、国民的な議論が行われる必要があることに留意すべきである。

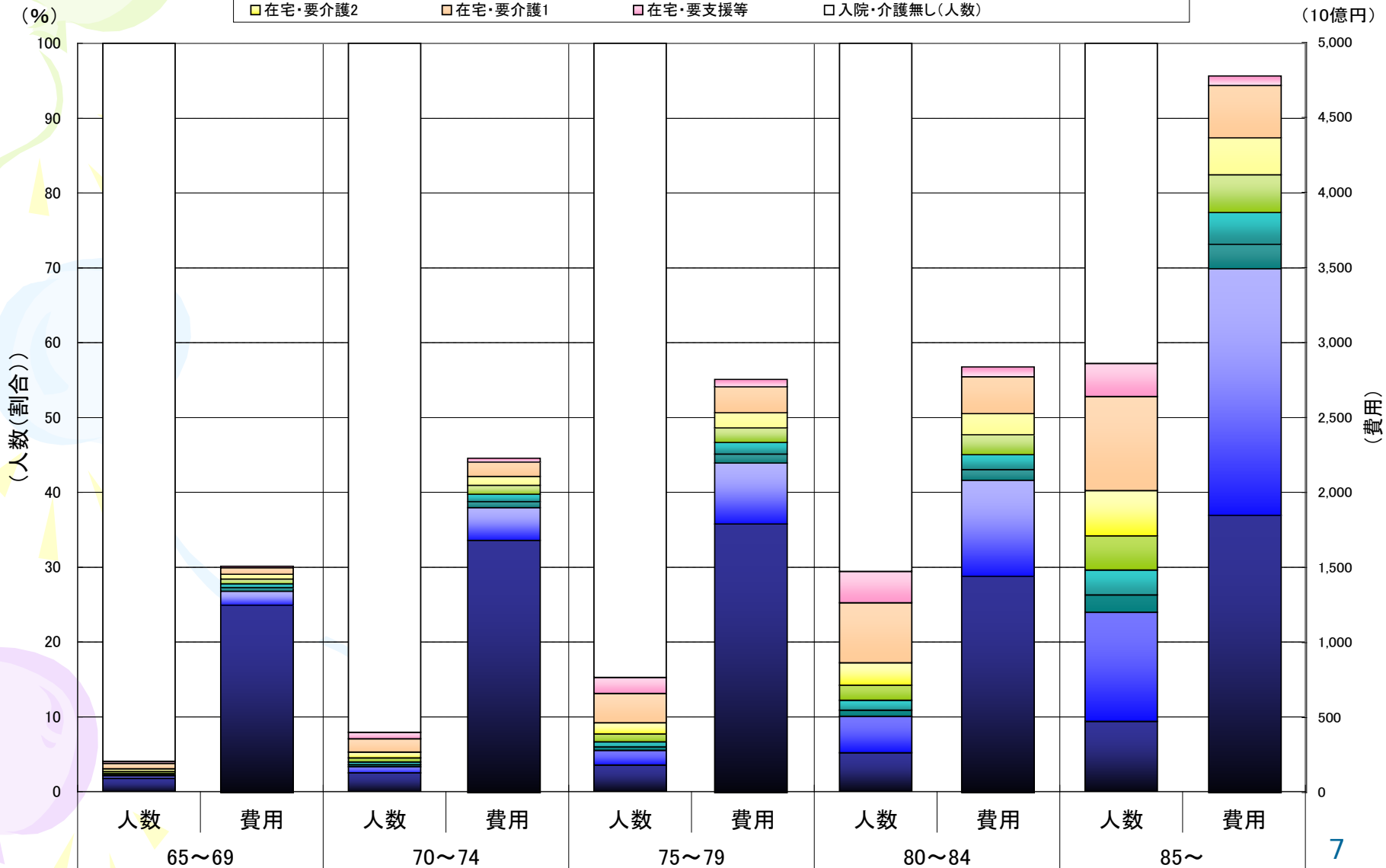
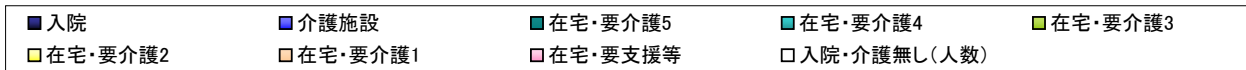
75歳以上高齢者の増大

○ 我が国の75歳以上人口の割合は現在10人に1人の割合であるが、2030年には5人に1人、2055年には4人に1人になると推計されている。



資料: 2005年までは総務省統計局「国勢調査」、2007年は総務省統計局「推計人口(年報)」、2010年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)中位推計」

高齢期の医療(入院)・介護サービスの利用者の割合及び費用構成



医療・介護サービスのシミュレーションの前提(ポイント)

あるべき医療・介護サービスを前提=改革(再生)への道筋を提示

不十分・非効率的なサービス提供体制

- ・病床数が多く在院日数が高い
- ・病床の機能が未分化・勤務医の疲弊
- ・地域医療、特に産科小児科救急の危機
- ・介護サービス不足、従事者不足 等

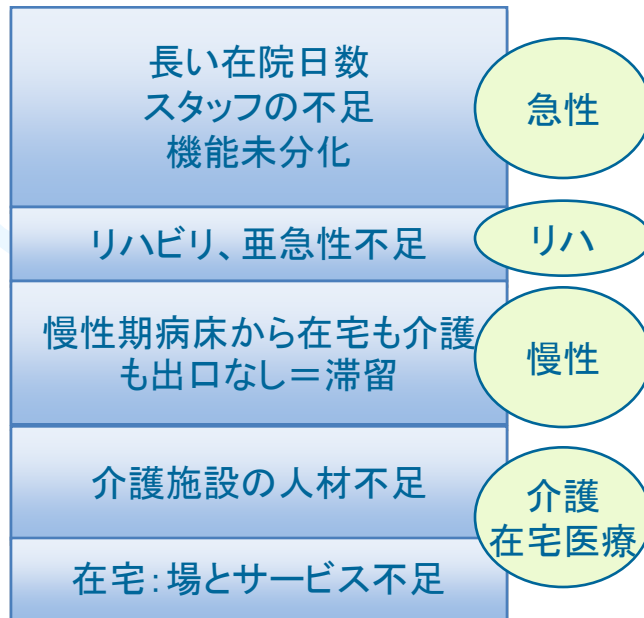
現状のままでは、問題未解決、しかも費用は増加

必要な改革=必要なサービス強化と効率化を同時実現
→ **必要な医療・介護を効率的に確保**

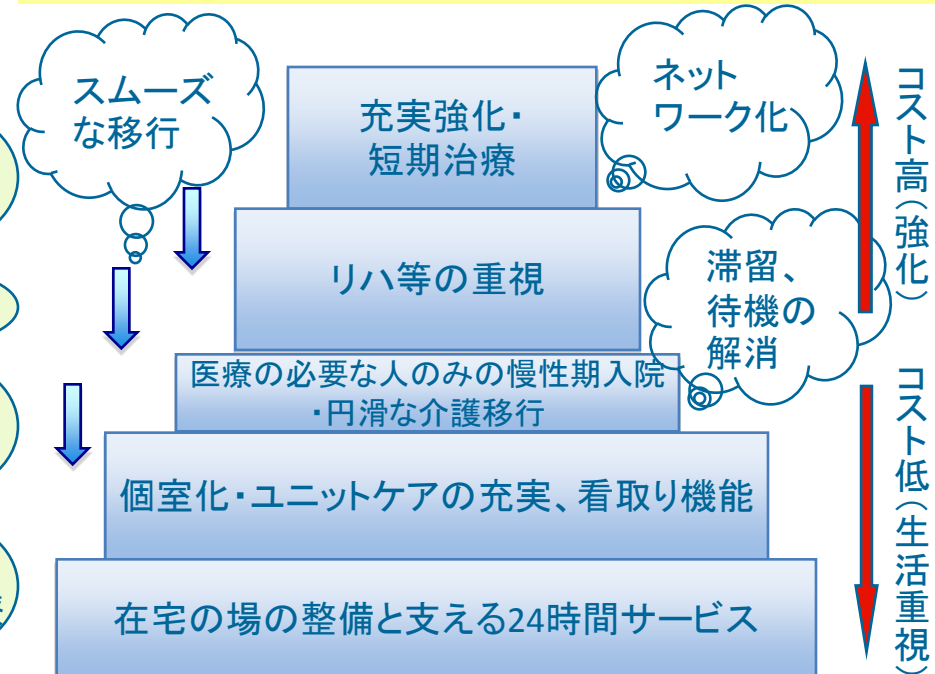
<現状=非効率な資源利用・非最適化>

急性期医療

慢性期、介護



<将来=充実強化かつ効率的な資源利用>



国民も最適ケアの場に、支え手も望む働く場に